



パソコン関連資格取得のすすめ

～MOS の場合～

大学生活には、パソコンが必要不可欠であり、琉球大学においても、令和 4 年度の入学生からは、ノートパソコン等の必携が求められるようになりました¹。パソコンを利用し、講義でのレポート提出や発表を行う場面で、Word、Excel、PowerPoint などを使う必要に迫られていると思います。皆さんは、どれほど使いこなせる自信がありますか？

社会人になると、それらを使えることが必須となります。そのため、大学生の間に、基本的なパソコン操作は、身につけておきましょう。また、自分はどれほどパソコン操作ができるのか、目に見える形にしたいという方もいるでしょう。そのような方には、パソコン関連資格の取得をおすすめします！ここでは、主に MOS という資格について、実体験を交えて紹介します。

■ MOS とは

MOS は、Microsoft Office Specialist の略称で、Microsoft の Word や Excel などのスキルを証明できる資格のことです。株式会社オデッセイコミュニケーションズが運営を行っています。

■ 試験の種類

試験科目は、Word、Excel、PowerPoint、Access、Outlook の 5 つとなっています。また、受験できるバージョンが分かれており、現在は 2019、2016、2013 が受験可能です。自分が普段使用している Office のバージョンを確かめ、当てはまるものを受験することをおすすめします。基本的な操作は、特にバージョンによって変化はありませんが、表示位置などに微妙な差異がある場合があります。

Word と Excel は、難易度によって、スペシャリスト²（一般）とエキスパート（上級）に分かれます。

これらの試験は、随時受験することができます。受験方法は、会場のパソコンを使用した実技試験となっています。また、基本的に Windows 版 Office による試験のようです。試験会場については MOS 公式ホームページを確認してみてください。

■ 受験料

私が受けた Word2016 スペシャリストを例に挙げると、税込み 10,780 円です。なお、大学生は学割がきくため、8,580 円となります。学割の詳細やその他の科目の受験料は、[MOS 公式ホームページ](#)でご確認ください。

学割をうけるにしても、比較的高めの受験料であるため、受けるなら一発合格を目指した方がお得です！

1 「ノートパソコン等の必携化について」を参照。

2 MOS2019 から、名称が「アソシエイト」に変更されました。

■ 勉強法

私はパソコン教室に通って、試験対策の本を見ながら操作練習を進め、分からないところを随時先生に教えてもらう形でした。その他にも、対策本を購入して独学で練習を行い、試験に挑むこともできます。MOS 関連の試験対策の本は、最寄りの書店で購入可能です。様々な出版社から発行されているため、自分に合うものや、対策しやすいものを選んでみてください。

対策と受験の結果、私は、Word2016 と Excel2016 のスペシャリストとエキスパート、両方の資格を取得しました。ですが、受験する順番などに規制は無く、上級にあたるエキスパートのみの受験も大丈夫です！

■ 取得のメリット

資格取得をすることで、どれほどのパソコンスキルが身についているか、目に見える証明になります。資格なので、もちろん、履歴書にも書くことができます。

また、資格取得という目標を掲げることで、パソコンスキルを身につける際のモチベーション向上にも繋がります。

■ その他のパソコン関連資格

今回紹介した MOS のほかにも、パソコンや IT に関連した資格はたくさんあります。「P 検」や「日本語ワープロ検定試験」などは、それぞれの協会が主催している試験です。一方で、IT パスポート試験や、情報処理技術者試験などは、国家試験となっています。

自分の興味・関心・得意なことに合った資格があると思います。ぜひ、探して受験してみてください！

参考

IPA 「IT パスポート試験」 <https://www3.jitec.ipa.go.jp/JitesCbt/index.html>

IPA 「情報処理技術者試験・情報処理安全確保支援者試験」 <https://www.jitec.ipa.go.jp>

Odyssey 「MOS 公式サイト」 <https://mos.odyssey-com.co.jp/index.html>

Odyssey 「MOS 2019 試験概要」

<https://mos.odyssey-com.co.jp/outline/mos365and2019.html>

P 検協会 「P 検 ICT プロフィシエンシー検定試験」 <https://www.pken.com/index.html>

日本情報処理検定協会 「日本語ワープロ検定試験」 https://www.goukaku.ne.jp/test_wordpro.html

琉球大学 「ノートパソコン等の必携化について」

<https://www.u-ryukyu.ac.jp/campuslife/curriculum/pc-hikkei/>

※情報は 2022 年 11 月現在のものです。



(地域共創研究科 M1)